



しもあか

二輪草学びのエリア

(赤塚三中・赤塚小・赤塚新町小・紅梅小・下赤塚小)

令和 7 年 3 月 3 日

板橋区立下赤塚小学校

校 長 菊 池 宏 一

学校便り NO. 11

ホームページ

<http://www.ita.ed.jp/edu/simoaes/>

一年間ありがとうございました

校長 菊池 宏一

春の訪れを感じる季節となりました。今年度も残すところあとわずかとなり、子どもたちはそれぞれの成長を胸に、新たな学年への準備を進めています。

本校では、2月より週に1回程度、給食を対面で食べる機会を設けました。新型コロナウイルスの影響により、長らく正面を向いての「黙食」が続いていましたが、子どもたちに社会性を身に付けさせるため、慎重に検討を重ね再開させました。友達と顔を合わせて会話を楽しみながら給食を食べることは、子どもたちにとってかけがえのない経験です。最初は戸惑いを見せていた児童も、次第に自然な形で言葉を交わしながら食べるようになりました。グループによる対面での給食は、食事の場でのマナーや相手を思いやる気持ちを育むことができ、改めて「共に食べること」の大切さを実感しています。



この1年間、子どもたちは学習や行事を通して大きく成長しました。授業では主体的に学び合う姿が増え、体育発表会や学習発表会では仲間と協力して課題解決にあたり、目標を達成する喜びを味わいました。日々の学校生活の中で、子どもたちは多くのことを学び、確かな力を身に付けています。こうした成長の陰には、保護者の皆様の温かい支えと、地域の皆様のご理解とご協力があります。皆様のおかげで、子どもたちは安心して学校生活を送ることができました。心より感謝申し上げます。

また、本校はこのたび「令和6年度 東京都教育委員会表彰（健康づくり功労）」の優秀校を受賞いたしました。これは、日頃から学校全体で健康づくりに取り組んできた成果を評価いただいたものです。特に、児童の体力向上を目指した体育学習や、バランスの取れた給食の提供、心身の健康を意識させる保健指導など、体育健康教育推進校として多岐にわたる取り組みが評価されてのものと考えております。この受賞は、児童一人一人の健康を支えるためにご協力いただいた保護者や地域の皆様、そして熱意をもって指導にあたった教職員の努力の賜物です。皆様のご尽力に改めて感謝申し上げます。

もうすぐ子どもたちは新しい学年を迎えます。これまでの経験を活かし、自信をもって前へ進んでほしいと願っています。そして、これからも学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちの健やかな成長を支えていけるよう努めてまいります。今後ともご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、一年間、本校の教育活動にご理解とご支援をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。皆様の温かいご協力のおかげで、子どもたちは充実した学校生活を送ることができました。これからも、子どもたちが笑顔で学び、成長できる学校づくりに励んでまいります。

春の訪れとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

3月の予定

※SC・・・スクールカウンセラー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 朝会 安全指導	4 NIEタイム SC相談日	5 お琴体験授業 (4年生) 委員会活動	6 卒業を祝う会	7 NIEタイム 保護者会	8
9	10	11 NIEタイム 避難訓練	12 クラブ活動 SC相談日	13 社会科見学 (3年生)	14 NIEタイム 集会	15
16	17	18 NIEタイム SC相談日	19	20 春分の日	21 離任式 給食終 5時間授業 (全学年)	22
23	24 S時程 修了式 卒業式予行	25 第66回卒業式 (6年生) ※在校生の参列は ありません。	26 春季休業日始	27	28	29
30	31					

※予定は変更となる場合があります。

離任式

東京都では、昨年度より教員の人事異動の公表を年度内に行っております。今年度、本校では、21日（金）に離任式を行います。

お願い

- ・年度末が近づいてきました。引っ越し等で転出の予定がある場合は、早めに学校（担任）までお知らせください。
- ・3学期も残りあとわずかとなり、学校で使用していた物を少しずつ持ち帰ります。次年度にむけて、不足している物の補充や記名等の確認をお願いいたします。また、学習用具は、入学時にお願いしている通り、キャラクターや柄があるものではなくシンプルなものをご用意ください。学習に必要なものは学校に持たせないようにしてください。
- ・Chromebookは、区が学習で使用するために貸与しているものです。最近、SNSやメールでのトラブルの報告があります。今一度、ご家庭でルールの確認をお願いいたします。

新年度 着任式・始業式（4月7日）について

登校：8：15～8：25（通常通り） 式：8：30～9：00 下校：9：20頃
場所：校庭（雨天時は教室） 持ち物：校帽・手さげ袋・筆記用具・連絡袋・上履き（雨天時）

新しいクラスの発表は、当日の朝6：30に学年のお便り配信用クラスルームで配信します。
ご家庭で確認してから登校させてください。ご家庭での確認ができない場合は、登校後に個別に対応いたします。お電話での確認は、ご遠慮いただきますようお願いいたします。

5年 研究授業 社会科「これからの工業生産」

11月15日（金）に社会科「これからの工業生産」の研究授業を行いました。本単元は、これからの日本の工業生産の発展について考える内容です。これまでの多くの授業では、機械工業を事例として扱ってきましたが、今回の研究授業では、機械工業だけでなく、食料品工業を事例に取り上げました。工業生産の学習に本校が大切にしている食育の視点を取り入れることで、日本の工業生産の発展を考えるだけでなく、持続可能な食のあり方についても関心をもってほしいと考えたからです。

食料品工業で取り上げた事例は世界の食料不足問題の解決に繋がる選択肢の一つに考えられているコオロギを加工した食品（コオロギせんべいなど）です。コオロギは、動物性たんぱく質を体内に多く含むため、栄養素を効率よく摂取することができます。また、昆虫を生育する際の温室効果ガス排出量や必要な水やエサの量は、一般的な家畜と比べて圧倒的に少なく、環境負荷も軽減されると言われています。

実際の授業の様子は次の通りです。まず、教師がコオロギせんべいを食べた感想を子供たちに伝えました。教師が「えびのような味でおいしい。」と伝えると子供たちからは「食べてみたい。」と声が上がりました。ところが、せんべいにコオロギが入っていることを伝えると、「気持ち悪いから食べたくない。」といった意見がたくさんでました。教師が世界的にもコオロギを加工した食品が注目されていることを伝え、「コオロギを加工した食品には、どのようなよさがあるか調べてみよう」という「めあて」をたて学習が始まりました。

子供たちは資料を使って、コオロギを加工した食品の利点を、たんぱく質が豊富で栄養があること、環境への負荷が少ないことと調べていました。その上でコオロギを加工した食品を食べたいか調査したアンケートの結果を紹介しました。アンケートで、ほとんどの日本人はコオロギを加工した食品を食べたくないと回答しています。このアンケート結果を知った子供たちからは「やっぱり気持ち悪いから食べたくない。」「食べ慣れていないから嫌だ。」といった意見がでました。そこで教師が「食べたくない日本人が多いのに、どうしてコオロギを加工した食品を研究したり、生産したりするのかな?」と投げかけました。すると子供たちは、「未来では必要になるかもしれないから?」「食べたい人もいるから?」と活発に話し合っていました。

そして授業の最後、サプライズでコオロギを加工した食品を研究する方からオンラインで話を伺いました。研究者からは未来の食料不足問題を解決したいといった使命感が語られました。子供たちは夢中になって研究者の話を聞いていました。子供たちの振り返りに「最初は驚いたが、コオロギのイメージが変わった。食べるか食べないかは人それぞれだが、これから心配される課題やこの取組をたくさんの人に知ってもらいたい。」とありました。このような考えは、持続可能な食の在り方を考える姿だと言えます。

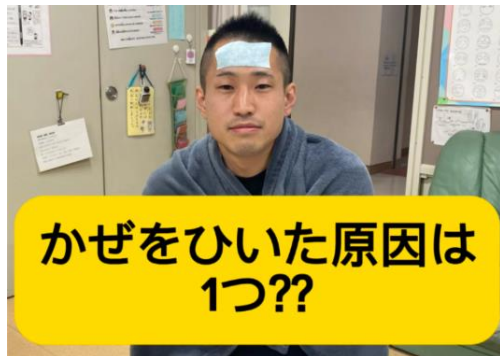
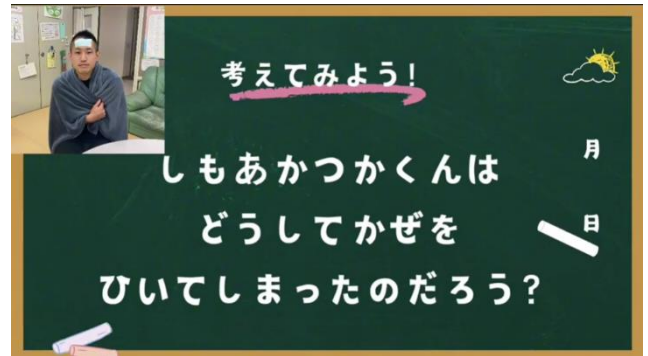
研究授業の翌週、子供たちは食料不足問題を解決する別の選択肢である「大豆ミート」を使ったハンバーガーを給食で食べました。お昼の学習で栄養教諭から「大豆ミート」の利点について話を聞き、さらに持続可能な食の在り方に関心をもつことができました。

現在、五年生の子供たちは総合の学習でSDGsについて調べています。今後も持続可能な社会に関心をもち続けてほしいと思います。



6年 研究授業 体育科（保健領域）「病気って何だろう？」

11月15日（金）に体育科（保健領域）病気の予防の1時間目を研究授業として行いました。本単元は、病気の発生原因や予防法、喫煙、飲酒、薬物乱用が健康に与える影響について理解する学習です。また、病気の予防に関する課題を見付け、よりよい解決に向けて考え、それらを表現できるようにする学習です。



保健分科会では、「病気の起こり方や予防法を知り、実践しようとする子」を目指して研究を進めてきました。目指す児童像に近付けるために、「①これまでの自分との出会い」と、「②学習を通して生活を見つめ直し、自己を高める」ことが重要だと考えました。今回の授業で、病気を引き起こす原因を分かりやすくするために、下赤塚小学校の教員による「下赤ティーチャーズ」の動画を視聴しました。動画を視聴することで、病気を引き起こす原因には【生活の仕方】【病原体】【体の抵抗力】【環境】4つがあり、それぞれが関わり合って起こっていることをより分かりやすく理解することができました。

また病気と言っても、かぜを引き起こす原因やむし歯を引き起こす原因はそれぞれ違います。そこで、学校三師の学校医（内科）、学校歯科医を活用し、それぞれの病気を引き起こす原因や予防法についてインタビューし、その動画を視聴しました。学習後の児童の振り返りからは、「かぜを引く原因について知ることができ、4つの原因がそれぞれ関わり合っているのだから、それぞれを意識して予防できるようにしていきたい。」「病気は4つの原因それぞれが関わり合っていることが分かった。これまで自分がかかったことのある病気について調べてみたい。」などの反応があり、次時以降への学習の意欲を高めることができました。第2時以降は、生活習慣病、喫煙、飲酒、薬物乱用、地域の保健活動などの学習を行いました。また、東京都教育ビジョン（第5次）に明記されているがん教育や性教育について扱い、世の中には様々な病気があることや心身ともに健康でいることの重要性についても学習する機会を設定しました。

